

## 連載企画

## ぱれっと中期計画策定に向けて⑤

中期ビジョンを考えるぱれっと勉強会は昨年8月にスタートしいよいよ大詰めを迎えています。理事を巻き込んだ策定委員会で何度も話し合いを重ね、7月20日の第三回全体会で具体的な文章化の作業が行なわれました。

●ビジョン? or スローガン?

今ぱれっとに必要なのは、夢や想いが乗せられ誰もが想像・共感でき、希望が持てるビジョンです。ぱれっとにかかわるすべての人が、自分たちのこととして行動に移せる「道標」と考えたとき、それは「スローガン」ではないかという意見が策定委員会でも出ました。目標や方向性を見える化することで、成果が明確に現れてきます。これから掲げる行動指針が言語化されることで、ぱれっとの経営方針とリンクしステークホルダーの価値基準になると考えます。

●4グループからの具体案

ぱれっとが36年間、社会的使命を有する組織として活動してきた歴史があります。その組織に所属するメンバーとして、自分がどのようにかかわっていききたいか、我々自身に納得感のある文章化ができることを目標としました。

**\*Aグループのスローガン**:「人と人とのつながりから笑顔と幸せを！」

ぱれっとが障がいのある人に対して、安心できる暮らしのために、【自分のできる事を増やし、手を差し伸べる】【人が人に、安心できる、その人らしく、生きやすく、やさしくなる】【すべての人が(障がい者・外国人・高齢者も)お互いさまと言

える(声を掛け合える)人間関係づくり】

【ぱれっと(知的に障がいがある人たち)が、ぱれっとに関わる人たち(ぱれっと周辺の人たち)の幸福のために、お菓子や作品を作り、笑顔にする】

美味しいお菓子・良い製品を作り人を笑顔にし幸せにすることは、おかし屋の原点。顔と顔を付きわせることで相手の表情がうかがえ笑顔が伝わる。人を笑顔にすることで、自分も幸せになり相手も幸せを感じる。「表情が伝わることでお互いの安心につながるのではないか」という思いが込められています。

**\*Bグループのスローガン**:「楽しさを発信することで自然と人が集まるぱれっとに!」「制度や分野の壁、枠を越え、助け、助けられる社会を目指す」

わかりやすく、その言葉に基づいて具体的な行動が考えやすく、この先迷ったときに立ち戻れるようなニュアンスを持たせたいという思いから、【気軽に他者に手を差し伸べられる社会をつくる】【助けてと言える社会】【SNSを越えた人と人とのつながりをつくる】【触れ合って、話し合っ、笑いあえる】【自然と人が集まる】

【Win-Win】【お互い『楽しい』を共有したい】【世界に発信 ぱれっとの支えあい】【楽しい、ドキドキわくわくする空間】【顔の見える関係づくり】【壁、枠を越える】この中からさらに掘り下げ、【楽しいを共有】【人が集まる】【壁、枠を越える】【発信】というキーワードに絞っていきましました。

**\*Cグループのスローガン**:「ワクを越え

て、育ち合う ～笑い、泣き、おこる～  
「知ろう あなたを みとめよう たがいを つなげよう みんなを」

簡潔かつ意味がストレートに伝わる言葉選びや、言葉の順序、ひらがな・カタカナ・漢字の使い分けに頭を悩ませました。『ワクを越えて』は「共に」という広い意味があります。受け手にとって意味が限定されないよう漢字の「粹」ではなくカタカナの「ワク」を敢えて使いました。「育つ」からは、停滞するのではなく前へ進んでいこうという可能性が見え、また『育ち合う』とすることで一方的ではなく双方向で、互いに、皆でというニュアンスも加わります。更に、関わる人が本気で喜怒哀楽が乗せられたら良いという願いから『笑い、泣き、おこる』を付け加えました。「互い」「皆」「あなた」というワードは、「あなたを知る」→「互いを認める」→「皆をつなげる」という順序で関係性を深めていけるよう、倒置法を使い印象的に、柔らかいニュアンスを加えるため一部をひらがなとしました。

**\*Dグループのスローガン**:「先に進むために誰に対してもあきらめない」

「小さな変化を見逃さず先に進むためにコトを興す」

グループ内で出てきた意見として、【現状起きている現場で閉塞感が感じられる】【スローガンは、未来に対する期待である必要がある】という思いから、誰に対しても「あきらめない」という姿勢について、それは何故か、先(未来)に進むためであることを表現しました。一方で、その意味合いは「今までやってきた

から」ではなく、新しい社会を作り上げていくために未来に向けての指針であると考えています。「小さな変化を見逃さない」といった視点について、「何をやっていくか」という意味においては新しい事業を作り上げていくことがあります。それは大きな事業でなくその意味も込めて「コトを興す」と表現しています。「興す」は、「エネルギー・熱を起こす」という言葉もありました。単純に何かを発生させるだけでなく、「盛り上げる」という意味合いのある「興す」という言葉を使いました。

### ●3つのスローガン

各グループから出された文章から、強調されるワードと共通項をまとめ、3つのスローガンが組み立てられました。

- \* 「粹」を超え支え合い育ち合う  
～笑い、泣き、おこる～
- \* 知ろうあなたを みとめようたがいを  
つなげようみんなを  
～人と人とのつながりから  
笑顔と幸せを～
- \* 楽しさを発信し自然と人が集まる  
ぱれっとに!

Dグループの、「先に進むために」「あきらめない」ためにスローガンを立てることと、策定委員会では認識を共有しました。参加者みんなの思いとこだわりが詰まっています。このスローガンから各セッション(現場)に落とし込み目標を掲げていきます。総会で承認を得、来年度から心機一転スタートとなります。

(理事長 相馬宏昭)